Market Letter 情報提供資料

11月5日の米国株式市場急落について

規制懸念は残るも金利低下やビッグテックFCF改善が相場を下支え

2026年11月6日

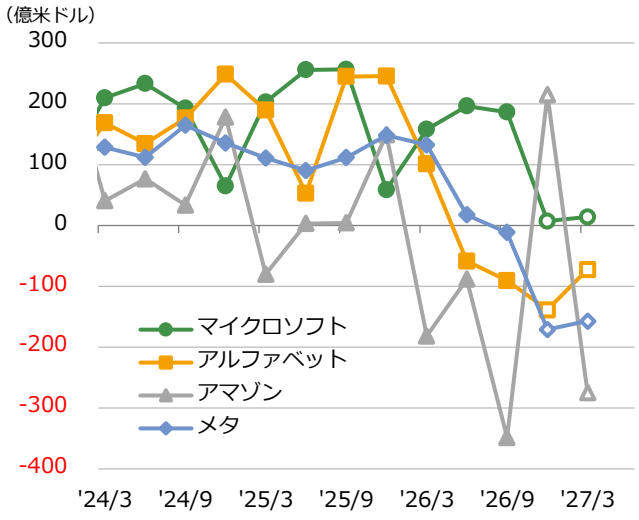
民主党によるデータセンター建設規制懸念によりハイテク中心に全面安

11月5日（木）の米国株式市場は総崩れとなり、S&P500が▲4.4%とトランプ関税ショックの25年4月以来の大幅安に。ナスダックは▲5.5%、SOXに至っては▲12.3%と急落しました。中間選挙で民主党が上下両院の過半数を制し、データセンターが集積するテキサス州やジョージア州の知事選で民主党候補が勝利したことを受け、データセンター建設や最先端AI開発への規制が導入されるのでは、との懸念が拡大。前日から下落していた半導体関連株に加え、AIインフラ建設関連株、さらに前日はデータセンター建設規制が設備投資抑制を促し、結果としてFCF（フリーキャッシュフロー）の改善に繋がると好感されたビッグテック各社も下落しました。

当社では、①データセンター建設の適度な抑制によるビッグテック各社のFCF改善余地、②対中競争を背景とした最先端AI開発への過度な規制の回避、③民主党の政治圧力によるイラン戦争終結への期待と原油価格下落、④原油安や民主党議会多数派奪取による財政拡張懸念の後退に伴う金利低下が、中間選挙後の米国株式市場の下支え要因になると想定しています。とくに財務基盤が強いビッグテック各社は「質への逃避」の対象になると考えています。一方、半導体関連株は、豊富な受注残から目先の業績への影響は限定的とみられるものの、データセンター建設規制による将来の需要鈍化や予想EPS下押しへの警戒が、当面、株価の重しとなる可能性があります。

（執筆：調査部　高橋卓也）

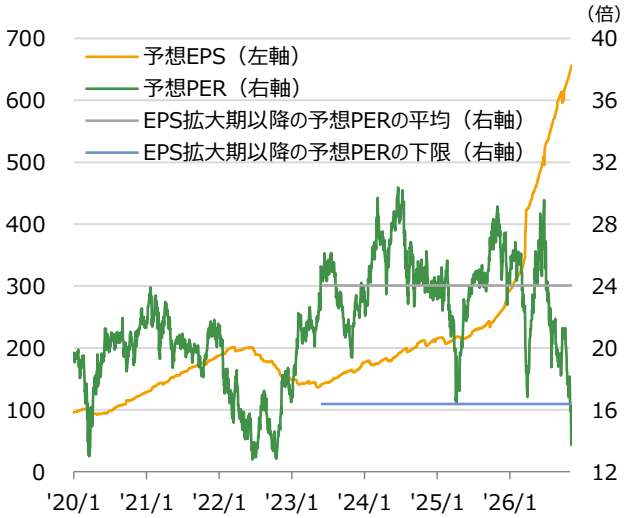
図表1　ビッグテック4社のFCF



※直近値は26年7-9月期。同10-12月期以降はブルームバーグ予想

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

図表2　SOXの12カ月先予想EPSと同PER



※直近値は26年11月5日。ブルームバーグ予想

（出所）ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。